

心豊かな生活が送れるような食育の推進を



市民と歩む会
河本英敏

食育

問 心の乱れは食の乱れからと言われる。津山市では、平成25年度から進められている第2次食育推進計画も3年となるが、これまでのような施策を実施したのか。

答 メディアを通じた啓発、各種健診での啓発指導、大学や関係団体と連携し、地産地消の推進に取り組んだ。

問 朝食を食べていない児童生徒の実態は。

答 食生活のアンケート調査結果で1週間のうち1日でも朝食を食べない児童・生徒の割合は市内の小学5年生18%、中学2年生23.7%である。



学校給食

問 学校給食でアレルギー対応者は何人か。

答 小学生76名、中学生31名。

問 給食費の未払への対応も食育の一つでは。また、未払い者へ弁当をお願いしては。

答 給食費の未払と食育とは分けて考えている。

◆【その他の質問項目】
公共サービスの文書通知について

新たな「まちづくり」は地域資源の活用から



緑風会
竹内靖人

駅前周辺整備

問 津山駅北口広場の整備も進んでいる。県北の拠点都市として津山駅のあるべき姿は。

答 十万都市の玄関口にふさわしい多様な機能を再生・集約した、津山らしい訪れたい駅にしていきたい。

子ども議会

問 子ども達に社会の一員として市政に関心を持たせるために、子ども議会を開催しては。

答 子どもの目線で疑問や意見を聞かせてもらうことは非常に有意義と考える。開催も含め検討をしていきたい。

地域資源

問 バイオマス戦略で山林所有者への還元はどう考えているか。里山も新たな資源として活用整備のための体制整備ができないか。



木質パウダーボイラーと給湯器設備

答 津山市バイオマス産業都市構想の中で山林所有者への還元、里山に人が入り、価値のある資源として可能な取り組みを検討したい。

◆【その他の質問項目】
農林水産業の振興と今後について

ときわ園の指定管理者制度導入への対応は



日本共産党
津山市議団
美見みち子

指定管理者制度

問 養護老人ホームときわ園の平成28年度指定管理者制度導入について入所者の不安にどう応えるのか。

答 特定施設入居者生活介護事業の受け入れと体制は。

問 入所者には4月に指定管理者制度導入の方向を説明し、事業者が内定した10月にも報告。要望、疑問等には月例会や随時、個人的にも対応している。今議会でも決まると年明けから3月末まで事業者と事務引き継ぎを行いながら入所者の不安を取り除き、快適に過ごせるよう努める。特定施設入居者生活



養護老人ホーム「津山市立ときわ園」

介護事業利用者は導入時11人を想定。法定基準により生活相談員や看護職、介護職、機能訓練指導員など配置する。

子ども医療費

問 子ども医療費無料化における国保国庫負担金削減（26年度約800万円）の廃止を求めよ。

答 すでに求めているがさらに求めたい。